

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 岡山市立福田中学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注1</sup>

☒ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注2</sup> ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒701-0202

岡山県岡山市南区山田544番地3

E-mail [fukudac@city-okayama.ed.jp](mailto:fukudac@city-okayama.ed.jp)

Website <http://www.city-okayama.ed.jp/~fukudac/index.html>

幼児児童生徒数 男子183名 女子164名 合計347名

幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校は、「豊かな人間性を養い、何事にも主体的に取り組む生徒の育成」の教育目標のもと、様々なESD活動を通して「互いの個性を認め合い、他との共生を目指す生徒の育成」「興味・関心を高め、意欲的に学習に取り組む生徒の育成」「社会の変化に対応し、よりよく生きようとする生徒の育成」の実現を目標として取り組んだ。

具体的には、①国際理解教育交流会、②地域再発見 福田学区スタンプラリー（郷土愛）を行った。

### ① 国際理解教育交流会

#### ○ 目 的

- ・ 「地域教材開発プロジェクト」により、岡山市の観光地や文化などを英語や写真などを使って紹介することで、地域の文化等への関心を高め、英語力の向上を図る。
- ・ 作った資料を留学生に発表することで、生徒の表現力を高める。また、留学生との交流を通じて伝え合う力を伸ばし、海外の文化や考え方について学び、国際的な感覚を身につける機会とする。

## ○ 概 要

平成29年12月14日（木）13：40～15：30 岡山市教育委員会からの紹介で11名の留学生の方が来校し、3年生の生徒に対して「国際理解教育講演会」を行った。今回は多くの留学生の方が参加していただけたので、すべての班に分かれていただき（各班1～2名）、少人数での活動ができた。

事前にALTの先生と一緒に英語の授業で岡山市の観光地などを紹介する資料を作成し、班ごとに発表をおこなった。

また、留学生にもスピーチをお願いし、英語で母国の内容について聞き、その内容や事前に準備した質問を通して交流を図った。

いままでのクラスに1～2名の留学生の方との交流会と比べても、6名程度の班の中に1～2名の留学生の方に入っていただくと、より積極的な交流を行う機会となり、今後にもつながるとてもいい交流会となった。

## ② 地域再発見 福田学区スタンプラリー（郷土愛）

### ○ 目 的

- ・ 地域の史跡を調査することにより、今まで気がついていなかった地域のよさを認識し、郷土を愛し、将来にわたって郷土に貢献しようとする意識の高揚を図る。
- ・ 参加した子どもたちが異年齢の集団で活動したり、地域住民とのかかわることで、協力して地域の課題を解決しようとする意欲を高める。

### ○ 概 要

平成29年7月29日（土）8：00～10：00 学区内の古新田地区で実施した。福田学区在住の小学校4年生～中学校3年生の229名が参加した。小中学生の参加者が少人数のグループをつくり、全部で56班に分かれて学区内のチェックポイント3カ所を訪ね、町内会の有志の方にスタンプを押してもらいゴールする活動をおこなった。

今回も史跡にまつわる5つの質問を用意し、仲間と協力しながら地域のことについて考えてもらえるよう工夫した。

また、中学生と大学生のボランティアおよび小中学校のPTA役員111名が、開閉会式の司会や参加者の受付、安全確保のための誘導や立ち番などの活動をしながら、参加者との交流を図った。

① 国際理解教育交流会の写真



② 地域再発見 福田学区スタンプラリーの写真



## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input checked="" type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(郷土愛)		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 有志の生徒を対象とした休日を利用した活動)	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

年度当初の職員会議で、学校経営計画書を使って全職員に８つの具体的な学校経営目標・計画を提示している。

そのうちの１つに、『ＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）においては、「平和学習」・「地域連携」を軸に進め、校外研修の実施、地域人材ボランティアや外部講師の招聘も行い、教育活動に取り組む。』と明記しており、常にＥＳＤの視点を大切にしながら日々の教育活動に取り組んでいる。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校での様々な取組について、ＥＳＤの視点をふまえ、単に知識の伝達にとどまらず、体験・体感を重視して計画・実行するよう努めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

地域協働学校運営協議会において学校の取組の説明をおこない、それに対して委員の方からご意見をいただきながら進めている。

現在おこなっている取組については、おおむね良好な評価をいただいており、引き続き継続した取組を進めていくよう助言をいただいている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度） ※チェック事項 2-2 に対応

学校通信に活動の様子を紹介するとともに、校門前の掲示板に掲示することで、広く発信している。

夏休みに岡山市内のショッピングセンターで開催された「おかやまっこ未来フェスタ」で中学校の活動の様子を生徒会の生徒が発表している。

地域協働学校運営協議会で中学校の取組の様子として発信し、学校の取組を評価していただいている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（２００字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

国際理解教育の取組のなかで、様々な団体に所属している留学生と連携して取り組んでいる。

平和学習の取組のなかで、広島研修では被爆体験の語り部さん、鹿児島修学旅行では知覧の特攻会館の語り部さんと連携して取り組んでいる。

地域の方々（町内会）と協働し、スタンプラリーを実施している。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

現在は国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成はできていない。

ただ、学区内の福田小学校の児童とは、スタンプラリーや地域でのボランティア活動と一緒にこなうなどの交流はできている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

様々な活動に取り組んでいくことにより、生徒が自分の課題として意識を持って活動に取り組めるようになってきている。

また、多くの活動に積極的に取り組もうとする生徒が増え、ボランティアに取り組む生徒の数も増えてきている。

（3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

平成30年度も今までの活動を引き続き取り組んでより充実した活動としていきたい。

具体的には

- ① 子どもたちの学びの発掘プロジェクト（協同学習）
- ② 地域美化活動
- ③ 地域再発見 福田学区スタンプラリー
- ④ 福田学区 秋の音楽祭
- ⑤ 人権・平和学習
  - ・ 広島、沖縄での平和学習および田楽祭での研究発表
  - ・ 国際理解教育交流会
  - ・ 人権学習（全校道德）

などを予定している。